

令和4年度 第7回理事会

日 時：令和4年10月14日（金）15：30～

場 所：森林総合研究所特別会議室（つくば市）、テレビ会議（川崎市）

I. 報 告

1. コンプライアンスの取組状況について [コンプライアンス推進室]
2. 森林研究・整備機構環境報告書2022（ウェブサイト版）の公開について [広報普及科]
3. 創立記念式典等の開催及び令和4年度理事長賞受賞者の決定について [総務課]
4. 早期退職者の募集について（非公表） [総務課]
5. 定年の引上げ等について（経過報告）（非公表） [総務課]
6. 令和5年度 森林総合研究所等における研究職員の新規採用について（非公表） [総務課]
7. 令和4年度川崎駅前優しい木のひろば出展について [森林整備センター]
8. 令和4年度保険料収入及び保険金支払の実績（暫定値）について（非公表）
[森林保険センター]

II. その他

1. 今後の行事予定について
2. 主要行事
3. 令和4年9月に森林総合研究所が広報した研究成果

コンプライアンスの取組状況について

1 コンプライアンス推進状況

1) 令和4年度上期の状況

- ・ 機構業務の適正運用や効率的・効果的な遂行のため、事業活動に関わる法令等の遵守強化、監事・会計監査人との連携によるモニタリング体制充実、リスク管理推進など組織の内部統制システムの充実・強化に継続的に努めている。
- ・ 上期においては、各部門のコンプライアンス推進委員会の取組方針に基づき、法令等周知のための教育・研修の実施、改定された公益通報制度の周知とその理解促進などを進めてきた。

研究所等で実施したコンプライアンス意識調査では、運用強化により100%に近い回答率を得ることができ調査精度が向上した。その調査結果からは、ハラスメント、特にパワハラの問題があるとした研究職の回答が30.6%と昨年に対して2.7%増加しており、これまで以上の一層の改善対応が必要であると認識された。

- ・ リスク管理推進の観点から、PDCAを意識したリスクマネジメント手法について、各部門コンプライアンス推進委員で勉強会を実施。

2) 令和4年度下期の取組

- ・ 引き続き、コンプライアンス研修や自己診断などを実施し、コンプライアンス意識の向上に努める。
- ・ 国研協としての取組である12月の「コンプライアンス推進月間2022」においては、コンプライアンス研修等のほか、国研協統一スローガン「目を瞑りますか？ 芽を摘みますか？」の周知とそのポスター掲示を行い、また昨年同様、各部門において標語の募集、コンプライアンス推進に対するメッセージ発出などを行う。
- ・ 研究不正防止や公的研究費等に関するコンプライアンス徹底に、研究所等体制と連携し推進する。
- ・ 今年6月の「改正公益通報者保護法」の施行に伴い改正した当機構の規程や通報制度、窓口等の周知を徹底する。
- ・ PDCAを意識したリスクマネジメント手法の実務への反映検討。

2 各部門の動き

部門	研修実施状況	今後の予定	公益通報 処理の実績	その他
研究所等	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(4月11日) ・公的研究費等に関するコンプライアンス教育研修及び事務取扱い説明会(5月25日) ・第1回情報セキュリティ研修(6月3日) ・知財セミナー(6月24日) ・国研協コンプライアンス専門部会研修「意図せぬ研究不正を防ぐために」(7月8日) ・研修倫理研修会(10月13日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議・委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス推進委員会(R5.2月) ・コンプライアンス合同報告会(R5.3月14日) ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修(10月21日) ・発注者網紀保持に関する研修(11月16日) ・第2回情報セキュリティ研修(11月) ・コンプライアンス(ハラスメント防止)研修(12月15日) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティインシデント訓練(11月) ・コンプライアンス推進月間2022(12月) ・PDCAを意識したリスクマネジメント手法の実務への反映検討 	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度コンプライアンス推進のための活動計画(4月22日連絡調整会議周知) ・公益通報窓口(4月22日連絡調整会議、毎月1日サイボウズ周知) ・コンプライアンス意識調査(6月17日～7月29日) ・国研協第11回コンプライアンス専門部会(各法人におけるコンプライアンスに関する取組紹介など)(8月4日) ・コンプライアンス担当者意見交換会・リスク管理担当者勉強会(リスク管理手法について)(8月31日)
森林整備センター	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修(管理職対象)(5月12日) ・コンプライアンス研修(職員等対象)録画視聴(6～8月) ・産業保健総合支援センターセミナー等(広島外13事務所:4～9月) ・著作権セミナー等(6月) ・情報セキュリティ教育研修自己点検(eラーニング)(9～10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議・委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス推進委員会(R5.2月) ・コンプライアンス合同報告会(R5.3月14日) ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修(eラーニング)(12月) ・産業保健総合支援センターセミナー(全国各地) ・著作権セミナー(文化庁他主催)(11～12月) ・過重労働解消のためのセミナー(オンライン)(9～12月) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス自己診断(10/3～21) ・コンプライアンス推進月間2022(12月) ・情報セキュリティ標的型メール訓練(11、12月) ・情報セキュリティインシデント対応訓練(11月) 	0件(窓口への通報・処理とも)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス意識の浸透・定着に向けたディスカッションの実施(毎月・職場毎) ・コンプライアンス担当者意見交換会・リスク管理担当者勉強会(リスク管理手法について)(8月31日)
森林保険センター	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修(全職員対象)(6月7日～8月31日) ・情報セキュリティ研修(eラーニング)(9月21日～10月21日) 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議・委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス推進委員会(R5.2月) ・コンプライアンス合同報告会(R5.3月14日) ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修(eラーニング)(12月) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス自己診断(10月) ・情報セキュリティインシデント対応訓練(10月) ・情報セキュリティ標的型メール訓練(11、12月) ・コンプライアンス推進月間2022(12月) 	0件(窓口への通報・処理とも)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス違反を未然に防ぐ風通しの良い組織づくりに向けた意見交換会(四半期毎・各課室毎) ・コンプライアンス担当者意見交換会・リスク管理担当者勉強会(リスク管理手法について)(8月31日)

森林研究・整備機構環境報告書2022（ウェブサイト版）の公開について

環境報告書2022を、令和4年9月30日付下記URLにて公開したので報告する。

https://www.ffpri.affrc.go.jp/kankyou/environmental_report_2022/2022.html

- 第1回環境委員会（9月14日）にて審議、了承された。
- 昨年度第2回環境委員会（3月8日）にて了承された作成要領に則り作成した。
- 今後、環境報告書編集委員会にて環境報告書2023の内容を議論していく予定である。



国立研究開発法人
森林研究・整備機構
Forest Research and Management Organization

文字サイズ 色合い

サイト内検索

森林研究・整備機構について

組織

公開情報

採用情報

調達情報

ホーム > 森林研究・整備機構 環境報告書2022

更新日：2022年9月30日

> トップページ・編集方針

> TOP MESSAGE

> SDGsへの貢献

> 地球環境に対する貢献

> 森林研究・整備機構の概要

> 環境への取組

> 環境戦略と実施計画

> 環境保全の実績

> 事業活動における環境への貢献

> 社会貢献活動への取組

> 地域社会との共生

> 環境コミュニケーション

> 働きやすい職場づくり

> 所在地と連絡先

> 監事意見書

> 編集・発行

森林研究・整備機構 環境報告書2022



秋晴れの水沢ダム（峰水湖）と水源林

撮影場所：秋田県山本郡八峰（はっぽう）町

撮影者：東北北海道整備局秋田水源林整備事務所

日本海に面した八峰町は、土地面積の8割近くが森林です。四季の移り変わりが明瞭で山間部では降雪量も多く、地域の暮らしは豊かな森林と水に支えられています。ダム湖周辺や標高の高いところは色づいた広葉樹林となっており、その中に森林整備センターが水源林造成事業で整備したスギの進林地があります。

編集方針

環境報告書2022は、国立研究開発法人森林研究・整備機構が作成する環境報告書として、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法※）」第9条に基づき作成し公表するものです。（※下段に参考として環境配慮促

【機密 2】

理 事 会 資 料
令和 4 年 1 0 月 1 4 日

創立記念式典等の開催及び令和 4 年度理事長賞受賞者の決定について

森林研究・整備機構創立記念式典（117周年）及び令和 4 年度理事長賞受賞者による記念講演を下記のとおり開催する。

また、令和 4 年度理事長賞受賞者は、別紙のとおり決定した。

記

1. 創立記念式典

日 時：令和 4 年 1 1 月 1 日（火） 1 1 時 0 0 分より

- ・理事長式辞
- ・理事長賞表彰

場 所：大会議室

2. 令和 4 年度理事長賞受賞者記念講演会

日 時：令和 4 年 1 1 月 1 日（火） 1 3 時 3 0 分より

場 所：大会議室

※ 記念式典及び記念講演会は、テレビ会議により中継。

令和4年度 理事長表彰受賞者

	氏名	職名	所 属	業 績 名
1	高山 範理	チーム長	森林総合研究所 森林管理研究領域	目に見えない森林の効用を科学的に見える化し森林の付加価値を産業につなげた
2	森田 香菜子	主任研究員	森林総合研究所 生物多様性・気候変動研究拠点 気候変動研究室	気候変動及び生物多様性の国際的取り組みの活動に対する科学的貢献
3	古川 拓哉	主任研究員	森林総合研究所 生物多様性・気候変動研究拠点 生物多様性研究室	
4	多田 泰之	主任研究員	森林総合研究所 関西支所 森林環境研究グループ	
5	白澤 紘明	主任研究員	森林総合研究所 林業工学研究領域 森林路網研究室	林業と国土保全を両立するための山地災害リスク評価技術の開発および社会実装への取り組み
6	小高 信彦	主任研究員	森林総合研究所 九州支所 森林動物研究グループ	沖縄・奄美世界自然遺産登録地における森林生態系管理手法の研究開発
7	阿部 真	チーム長	森林総合研究所 多摩森林科学園（地域生態系保全担当）	
8	亘 悠哉	主任研究員	森林総合研究所 野生動物研究領域 鳥獣生態研究室	
9	宮下 久哉	主任研究員	関西育種場 育種課 育種研究室	ケニアにおける乾燥耐性郷土樹種（メリア・アカシア）の育種及びケニア森林研究所への技術移転
10	花岡 創	室長	北海道育種場 育種課 育種研究室	
11	松下 通也	主任研究員	林木育種センター 育種部 育種第二課 育種研究室	
12	生方 正俊	研究専門員	北海道育種場	
13	高濱 美樹	課長	林木育種センター 指導普及・海外協力部 海外協力課	
14	花岡 創	室長	北海道育種場 育種課 育種研究室	AI技術を活用したトドマツの着果評価技術の開発とその技術開発の成果の社会実装化への取組
15	七里 吉彦	主任研究員	森林総合研究所 森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室	スギにおけるゲノム編集技術の開発とその高度化
16	高倉 利仁	係長	森林整備センター森林管理部 企画管理課 ICT推進係長	感染症による制約下における業務継続に必要なICT環境の構築
17	遠藤 大士	係員	森林整備センター森林管理部 企画管理課 元ICT推進係	
18	朝倉 太志	係長	森林整備センター森林管理部 企画管理課 情報技術係長	
19	小林 俊大	係長	森林整備センター森林管理部 企画管理課 元企画係長	
20	瀧下 潤	係員	森林整備センター森林管理部 企画管理課 ICT推進係	
21	森林保険センター 保険経理課			グリーンボンドの取得による社会貢献（環境改善に取り組む地方公共団体支援）

令和4年10月14日(金)
理 事 会 資 料
森 林 整 備 セ ン タ ー
森 林 保 険 セ ン タ ー

令和4年度川崎駅前優しい木のひろば出展について

川崎市木材利用促進フォーラム主催の「川崎駅前 優しい木のひろば」は、国産木材を活用する意義や木の良さを、広く市民に伝え認知を深めることを目指し、普及啓発イベントとして、令和元年度より川崎駅前にて開催されており、両センターが共同して参加している。

開催場所も令和3年度から川崎駅直結のラゾーナ川崎プラザのルーファ広場となり、令和4年度は2日間での開催となっている。

1. 行事名 令和4年度川崎駅前 優しい木のひろば
主催：令和4年度川崎駅前優しい木のひろば実行委員会
後援：ラゾーナ川崎プラザ／林野庁

2. 日 程 令和4年10月28日(金) 10:00～15:00
29日(土) 10:00～17:00

今後の行事予定について

日付	研究	整備	保険	行事名等	場所等
10月17日	○			機動的調査（財務省主計局農林水産第2係）	林木育種センター
10月17日 ～21日	○	○	○	税務調査（関東信越国税局）	森林総合研究所 森林整備センター 森林保険センター
10月18日 ～20日	○	○		令和4年度林業研究・技術開発推進九州ブロック会議	九州森林管理局 九州育種場
10月22日	○	○	○	第25回「親林の集い」	林木育種センター
10月24日	○	○		令和4年度林業研究・技術開発推進四国ブロック会議	高知会館（高知市）
10月25日 ～26日	○	○		令和4年度林業研究・技術開発推進東北ブロック会議	東北支所
10月25日 ～28日		○		会計実地検査（第4局）	高知水源林整備事務所
10月26日 ～28日	○			アグリビジネス創出フェア2022	東京ビッグサイト
11月21日	○			森林産業コミュニティ・ネットワーク（FICoN） 第5回ウェブ検討会	森林総合研究所 （オンライン）

会議等については、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、時期および開催手法が変更となる場合がある。

主要行事(令和4年9月9日～令和4年10月13日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
9月9日(金)	【共】第6回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
12日(月)	【研・育】林業研究・技術開発推進関東・中部ブロック会議	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事
14日(水)	第1回環境委員会	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
18日(日)～ 25日(日)	【研】アラスカ出張	理事長
20日(火)	DSO総会・懇話会	企画・総務・森林保険担当理事
21日(水)	【研】内閣府科技事務局・奈須野統括官視察・意見交換	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
21日(水)	【研・育】林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議	研究担当理事
26日(月)	森林管理局長等会議	理事長
29日(木)～ 30日(金)	【育】第6回全苗連生産者の集い	育種事業・森林バイオ担当理事
30日(金)	ウッドチェンジ協議会	理事長
10月3日(月)	庁議	理事長
3日(月)～ 4日(火)	【研】会計実地検査	
4日(火)	【研・育】林業研究・技術開発推進近畿・中国ブロック会議	企画・総務・森林保険担当理事
5日(水)	【研・育】公開講演会	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事
6日(木)	【研】入所式	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
6日(木)	【研・育】第2回コンプライアンス推進委員会	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事
7日(金)	【研】内定式	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
13日(木)	【研】職務発明委員会	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事

※【研】: 森林総合研究所、【育】: 林木育種センター、【整】: 森林整備センター、【保】: 森林保険センター、【共】: 共通の行事 の略

令和4年10月理事会資料
 森林研究・整備機構
 森林総合研究所

令和4年9月に森林総合研究所が広報した研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	時短低コストの無花粉スギ判別技術を開発	ウエノ サネヨシ 上野真義 (樹木分子遺伝研究領域)	Tree Genetics & Genomes	2022年6月	
2	Googleトレンドを使って、桜の開花状況を推定	テイ シュンスケ 鄭 俊介 (森林管理研究領域)	PLOS ONE	2022年6月	
3	人工林伐採時に残した広葉樹がコウモリ類の活動量低下を抑制	カムラ カシヒロ 河村和洋 (野生動物研究領域)	Forest Ecology and Management Vol519	2022年9月	
4	野外のイエネコとクマネズミから明らかになったトキソプラズマ感染のホットスポット—牛舎のネコ管理がカギ?—	ワケリ ユウヤ 亘 悠哉 (野生動物研究領域)	International Journal for Parasitology: Parasites and Wildlife	2022年8月	オンライン公開 プレスリリース (東京大学主導)
5	シカを捕獲した地域では確かに林業被害が減少する—地域ごとに捕獲の効果を正しく評価し、捕獲数を決める—原発事故後11年間の観測と解析—	ススキ ケイ 鈴木 圭 (九州支所)	The Journal of Wildlife Management 86巻6号	2022年5月	オンライン公開 プレスリリース
6	植物における慢性放射線被ばくが塩基配列の突然変異に与える影響—発芽直後から種子成熟期までの放射線照射によって生じた突然変異分析—	ウエノ サネヨシ 上野真義 (樹木分子遺伝研究領域)	「Science of The Total Environment サイエンス オブ ザ トータル インヴァイロメント」(エルゼビア)	2022年9月	オンライン公開 プレスリリース (福島大学主導)
7	梅雨どきに大量発生するコバエは新種だった	スエヨシ マサヒロ 末吉昌宏 (生物多様性・気候変動研究拠点)	Zootaxa 5168 (4): 451-463	2022年7月	オンライン公開 プレスリリース

(シンポジウム・イベント)

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	FORESTRISE(第3回次世代森林産業展)2022に出展します	研究管理科 産学官連携・知財戦略室	主催 産経新聞社 後援 林野庁/ 森林総合研究所	東京ビッグサイト 西2ホール	9月14日(水)~ 16日(金) 10:00 ~ 17:00	
2	森林講座「アロマでいっぱい森の土」	多摩森林科学園	森林総合研究所	多摩森林科学園 森の科学館2階	10月13日(木) 13:15~15:00	
3	2022年度 森林総合研究所公開講演会「ネットゼロエミッション達成のための森林の役割」のお知らせ	広報普及科	森林総合研究所	一橋大学 一橋講堂	10月5日(水) 13:00~16:40	

注) 研究成果については、いずれも国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期計画に定める重点課題等に対応するものである。